

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記3

国立市立国立第七小学校

平成27年6月15日 NO.31 (231)

シベリア気団

つめたくて
かわいている

オホーツク海気団

つめたくて
しめっている

揚子江気団

あたたかく
かわいている

小笠原気団

あたたかく
しめっている



赤道気団

とてもあつくて
しめっている

ハレルヤモンタ「はーい！みなさん、こんにちは！わたしは、

お天気キャスター、または、
気象予報士ともよばれています。」

わたしは、
ハレルヤモンタ
といます！



オー君「初めて登場する人ですね。」

花ちゃん「モンタ博士や校長先生にも似てますね。お名前は何というのですか？」

ハレルヤモンタ「はい！わたしは、晴れが好きなので、『ハレルヤモンタ』といます。

お天気のことは何でも知ってて、わたしの予報は百発百中なのです。」

花ちゃん「そうだ！ハレルヤモンタさんに質問ですが、なぜ、梅雨はあるのですか？」

ハレルヤモンタ「そのわけ、つまり原因はね、気団とって、いろいろな性質をもった

くうき
空気のかたまりのためにおこるのですよ。」

オー君 「気団？あまり聞かないなあ・・・。」

ハレルヤモンタ 「日本の近くには5つの気団があってね、海の上でできるものと、陸の上でできるものがある、性質がちがうんだ。」

花ちゃん 「へえー。いろいろあるんですね。」

ハレルヤモンタ 「日本の梅雨の原因は、小笠原気団とオホーツク海気団なんだ。6月ころになると、小笠原気団が日本に近づいてくるんだ。」

オー君 「近づいてもべつにいいんじゃないですか。」

ハレルヤモンタ 「ところが、このころオホーツク海気団も強まって、北東から日本をおおおうとするんだ。」

花ちゃん 「ということは、日本に2つの気団がせまってくるといことですね。」

ハレルヤモンタ 「そのとおり、そこで、2つの気団のおしあいが始まるんだ。つまり・・・。おまえなんかあっち行け！きみこそあっち行け！といいあうのさ。」

オー君 「つまり、ぶつかりあって、ケンカみたいなことをするんですね。」

ハレルヤモンタ 「ピンポン。そのとおり。2つがぶつかって天気がくずれるのさ。2つ気団とも海の上でできた気団だから、水蒸気といって、水分をたくさんふくんでいるんで、それで、長雨になり、日本全国どこでも雨となるのさ。」

花ちゃん 「なるほど、よくわかりました。」

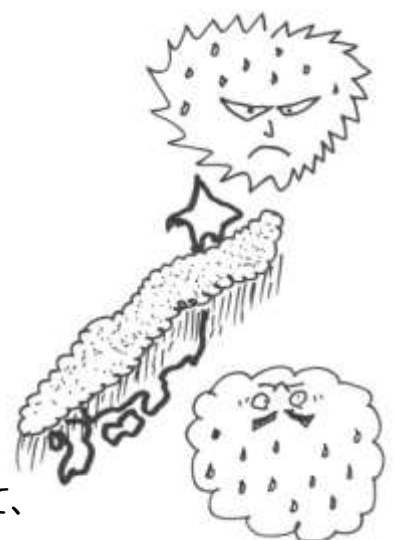
ハレルヤモンタ 「なたね梅雨というもあるけど、これは、大陸からくる冷たい空気のかたまりが日本の北からきて、南からのあたたかい空気とおしあいになり、天気が悪くなるのさ。」

オホーツク海気団



小笠原気団

オホーツク海気団



小笠原気団